

「富士山ガイドンス 2014」の概要

開催趣旨

富士山では、登山者の増加に伴い、遭難事故等も増加の傾向にある。安全な富士山登山を推進していくためには、登山者一人ひとりが富士山登山にふさわしい装備を整え、現地の状況に応じて適切な行動できるよう、的確な情報を提供することが必要である。そのため、富士山における適正利用推進協議会（以下、協議会、という）では、登山の準備段階や登山の直前、及び登山中に提供すべき情報を整理し、富士山登山者に提供すべき情報（協議会案）としてとりまとめ、平成 23 度は安全登山を推進するための登山者向けのビデオを作成し、平成 24 度は、インターネット上で安全登山を呼びかけるための富士登山のポータルサイト「富士登山オフィシャルサイト」を作成してきた。

富士山ガイドンスは、富士山の安全登山について、広く登山者への普及を図るため、富士山登山において登山者の参加割合が高い登山ツアーを企画する旅行会社をはじめ、事前情報の入手源となっているガイドブックの出版社やホームページの運営者等を対象とした説明会を開催し、安全で快適な富士山登山の実現を図ることを目的として開催するものである。

主催者

富士山における適正利用推進協議会

《事務局》 環境省関東地方環境事務所箱根自然環境事務所（担当：家人）
電話：0460-84-8727

開催日時

平成 26 年 2 月 4 日（火） 午後 1 時より （終了予定 午後 3 時 30 分）

開催場所

新宿御苑レクチャールーム

新宿御苑インフォメーションセンター 2 階（新宿御苑新宿門前）

〒160-0014 東京都新宿区内藤町 1 1

http://www.env.go.jp/garden/shinjukugyoen/2_guide/access.html

平成 25 年度の開催は、東京会場 1 箇所のみです。

対 象

全国の旅行会社、登山関連出版社、登山用具メーカー、登山用品店、等
（定員 60 名） 先着順

参加費

無料 事前に参加申込みが必要です。

プログラムの内容及び講師

1. 富士山が抱える諸問題と取組について [環境省箱根自然環境事務所]
「富士登山オフィシャルサイトの開設及び利用状況等」の紹介
2. 富士山における救護・救助実態 [山梨県警、静岡県警]
3. 「富士山登山における安全確保のためのガイドライン」について [静岡県]
4. 保全協力金徴収制度について [山梨県]
5. 受け入れ側が感じている現状と課題
・山小屋アンケート結果 [事務局]
・地元からの話題提供 [富士山頂上奥宮境内地使用者組合]

『富士山ガイドンス 2014』 プログラム

日 時 : 平成 26 年 2 月 4 日 (火) 12 : 40 開場、13 : 00 開会

場 所 : 新宿御苑レクチャールーム

主 催 : 富士山における適正利用推進協議会

(事務局 : 環境省関東地方環境事務所箱根自然環境事務所)

13 : 00	開 会
13 : 00 ~ 13 : 25	富士山の安全登山普及のための取組 環境省関東地方環境事務所箱根自然環境事務所 所 長 家入 勝次 『富士登山オフィシャルサイト』の紹介 【資料 1】
13 : 25 ~ 14 : 05	富士山における救護・救助の実態 静岡県側の実態 静岡警察本部地域部地域課 山岳遭難救助隊長 眞田 喜義 【資料 2】
	山梨県側の実態 山梨県警察本部生活安全部地域課 救助係長 吾妻 照之 【資料 3】
14 : 05 ~ 14 : 25	『富士登山における安全確保のためのガイドライン』について 静岡県文化・観光部交流企画局富士山世界遺産課 課長代理 松浦 裕之 【資料 4】
14 : 25 ~ 14 : 40	富士山保全協力金制度について 山梨県観光部観光資源課 課長補佐 井上 文伸 【資料 5】
14 : 40 ~ 14 : 50	休 憩
14 : 50 ~ 15 : 05	山小屋アンケート結果の紹介 事務局 (株) プレック研究所 【資料 6】
15 : 05 ~ 15 : 25	受入れ側が感じている現状と課題 富士山頂上奥宮境内地使用者組合 組合長 富士宮市観光協会 会長 宮崎 善旦 氏 【資料 7】
15 : 25 ~ 15 : 30	【その他】『富士山一周ロングトレイル』について 静岡県文化・観光部観光・空港振興局観光振興課 国内観光班長 袴田 祐司 【資料 8】
15 : 30 (予定)	閉 会

閉会后、アンケート用紙を回収します。